

地域評価指標のひな型（データセット）の使い方

2020年3月

EY新日本有限責任監査法人

本資料の目的と構成

地域評価指標のひな型（データセット）のエクセルファイルは、少子化対策に関連する市区町村の客観的指標を、他の市区町村と比較するためのツールです。

あらかじめ、指標やそれを示すグラフ（レーダーチャート）などを作成し、ダミーの市区町村のデータが入力されています。このファイルのデータを、自市区町村と、比較対象となる市区町村（同じ都道府県内の市区町村を想定）のデータに置き換えることで、少子化対策に関連する客観的指標の比較ができるようになっています。本資料はその使い方を説明するものです。

本資料の構成

I. シートの構成

1. シートの構成
2. シートの使い方

II. シートの作成

1. 市区町村数を合わせる
2. 比較する指標を選ぶ
3. データを取得する
4. データを入力する
5. 偏差値を確認する
6. レーダーチャートを確認する
7. 分野別偏差値とレーダーチャートを確認する

III. 補足

1. 困ったときは・・・

I . シートの構成

1. シートの構成

対象シート

指標

偏差値

レーダー
チャート

分野別偏差値と
レーダーチャート

元データ

取得元

6枚のシートとそれぞれの概要：

- ▶ 地域評価指標のひな型のエクセルファイルには、6枚のシートが含まれています。
- ▶ それぞれのシートの目的と役割は以下の通りです。

- ① 指標
少子化対策に関連する客観的指標について、7つの分野の個別指標のデータ（②～④で偏差値計算及びレーダーチャート作成に使用するデータであり、必要に応じて元データを加工した後のもの）を示すシートです。
- ② 偏差値
指標シートに入力されているデータについて、都道府県内の市区町村で比較した際の偏差値を示しているシートです。
- ③ レーダーチャート
偏差値シートのデータを分野ごとにレーダーチャートで示しています。
- ④ 分野別偏差値とレーダーチャート
少子化対策に関連する客観的指標について、各分野内の個別指標の偏差値の平均を算出し、7つの分野で総合的に市区町村同士を比較することができるシートです。レーダーチャートも含まれます。
- ⑤ 元データ
指標シートに入力されているシートの元データを記載するシートです。
- ⑥ 取得元
元データに入力されているデータの取得元を示します。

2. シートの使い方 i

対象シート

指標

偏差値

レーダー
チャート

分野別偏差値と
レーダーチャート

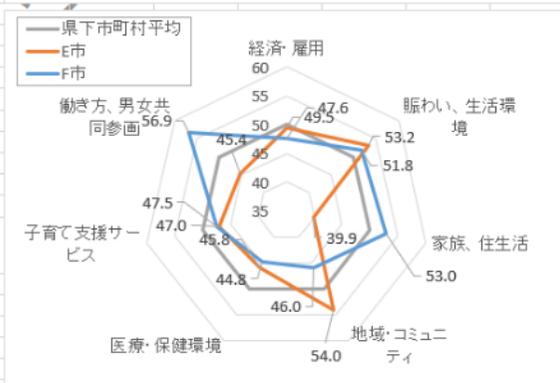
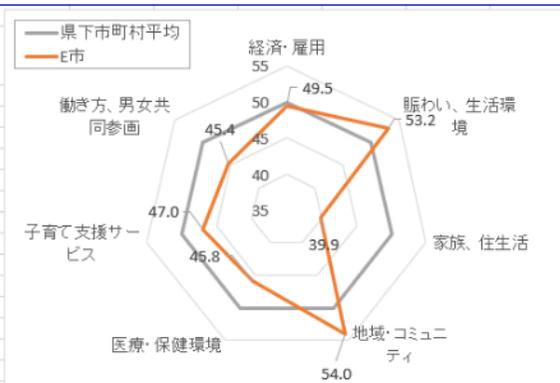
元データ

取得元

シートを使ってわかること：

- ▶ 分野別偏差値レーダーチャートシートにて、都道府県内の他市区町村と比較して、自市区町村の分野別の特徴（強みと課題）を把握することができます。

1	一覧表								
2	分野別偏差値	経済・雇用	賑わい、生活環境	家族、住生活	地域・コミュニティ	医療・保健環境	子育て支援サービス	働き方、男女共同参画	
3	50201	A市	53.8	46.6	42.6	49.5	48.5	46.2	52.2
4	50202	B市	57.4	53.1	44.2	46.5	53.5	46.3	49.4
5	50203	C市	51.9	48.8	41.8	48.4	49.5	50.2	50.3
6	50205	D市	45.8	57.6	34.9	49.9	57.5	58.6	53.9
7	50206	E市	49.5	53.2	39.9	54.0	45.8	47.0	45.4
8	50207	F市	47.6	51.8	53.0	46.0	44.8	47.5	56.9
9	50208	G市	47.7	54.3	45.1	48.0	50.7	58.9	53.1
10	50209	H市	49.6	46.8	55.4	48.4	43.1	51.7	51.0
11	50210	I市	47.9	49.0	51.9	45.1	45.5	50.8	48.9
12	50211	J市	52.9	46.9	52.2	46.3	45.8	51.1	52.3
13	50303	K町	53.7	58.8	60.7	61.4	68.9	46.9	48.8
14	50304	L町	51.2	55.2	59.3	57.1	44.2	50.8	48.0
15	50305	M町	40.8	56.9	48.9	54.8	61.8	42.7	46.9
16	50306	N町	41.9	42.1	47.7	45.0	41.6	50.3	39.5
17	50341	O町	57.2	45.7	41.0	46.7	52.1	50.6	50.7
18	50342	P村	52.3	48.5	38.5	49.1	49.6	41.4	46.3
19	50343	Q村	49.7	53.5	55.2	48.1	47.2	51.8	48.9
20	50344	R村	56.5	43.1	58.2	45.7	49.3	53.9	55.8
21	50345	S村	45.6	46.8	63.4	61.7	55.1	54.8	51.8
22	50661	T村	47.0	41.1	66.2	48.5	45.6	48.5	49.8



分野別偏差値とレーダーチャートのシートでは、7つの分野ごとに算出された偏差値の平均とそのレーダーチャートを確認することができます。

レーダーチャート上部では、選択した市区町村について、都道府県内市区町村平均（50）と比較してどの分野が高いか低いかわかります。

レーダーチャート下部では、2つの市区町村の偏差値を比較することができます。

選択した市区町村との比較で、自市区町村が7つの分野のどこに強みと課題があるのかを把握する手助けとなります。

25 レーダーチャート作成用
26 ↓番号(地方公共団体コード)を入力すると市町村名および数値が自動的に変わり、レーダーチャートに
27 反映されます

28		経済・雇用	賑わい、生活環境	家族、住生活	地域・コミュニティ	医療・保健環境	子育て支援サービス	働き方、男女共同参画
29	県下市町村平均	50	50	50	50	50	50	50
30	50206 E市	49.5	53.2	39.9	54.0	45.8	47.0	45.4
31	50207 F市	47.6	51.8	53.0	46.0	44.8	47.5	56.9

2. シートの使い方 ii

対象シート

指標

偏差値

レーダーチャート

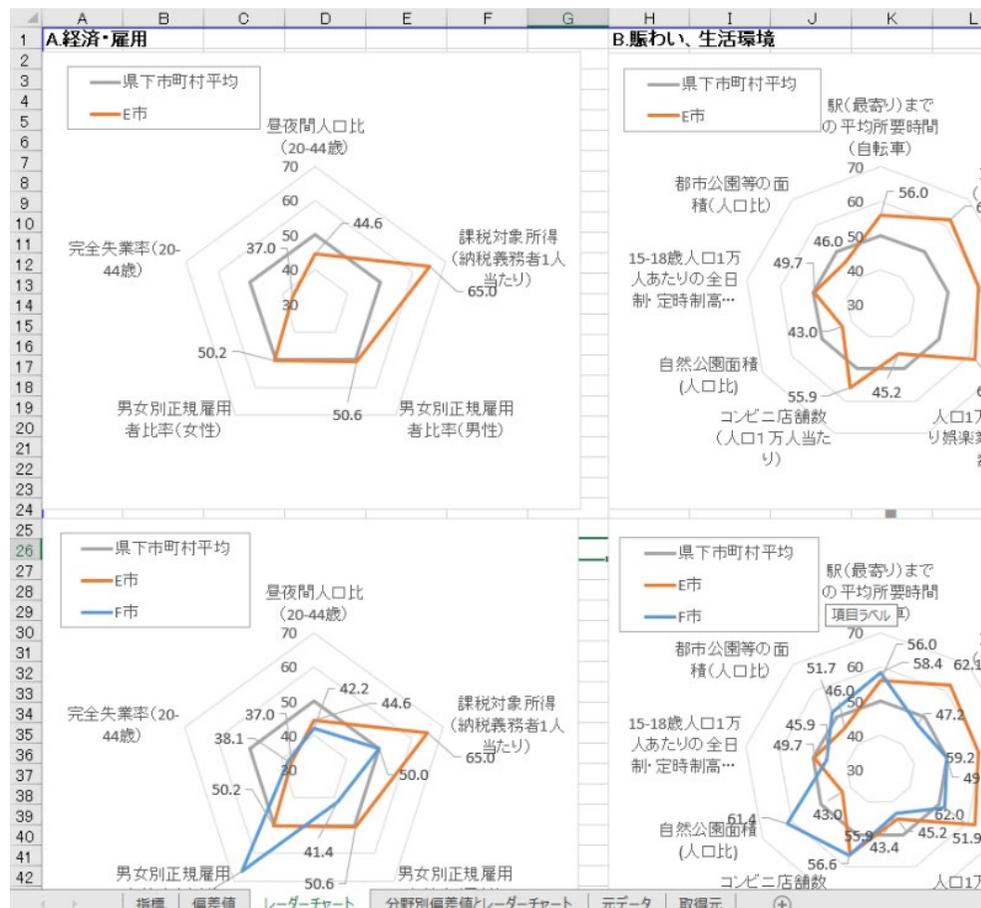
分野別偏差値とレーダーチャート

元データ

取得元

シートを使ってわかること：

- ▶ レーダーチャートシートにて、都道府県内の他市区町村と比較して、自市区町村の個別の指標の特徴（強みと課題）を把握することができます。



レーダーチャートのシートでは、7つの分野ごとに市区町村の個別の指標の特性を見ることができます。

上部の図は選択した市区町村単独のレーダーチャートです。平均値（50）と比較して、数値が高いか低いかがわかります。

下部の図では2つの市区町村の比較ができます。

各分野の個別の指標を比較することで、市区町村のどこに強みがあり、どこに課題があるかをより具体的に把握する手助けとなります。

Ⅱ. シートの作成

1. 市区町村数を合わせる

対象シート

指標

偏差値

レーダー
チャート

分野別偏差値と
レーダーチャート

元データ

取得元

TO DO :

- ▶ 都道府県の市区町村の数に合わせて該当シートのエクセルシートの行を増減させる。
- ▶ 比較対象となる市区町村名と地方公共団体コードを入力する。

	A	B	C	D	E
1	指標		A.経済・雇用		
2					
3		No.	A1	A2	A3
4		データ名	昼夜間人口比(20-44歳)	課税対象所得(納税義務者1人当たり)	男女別正規雇用者比率(男性)
11	50202	B市	101.1	3,402	90
12	50203	C市	103.0	3,204	82
13	50205	D市	99.0	3,220	81
14	50206	E市	97.0	3,609	81
15	50207	F市	96.0	2,987	78
16	50208	G市	104.8	2,756	79
17	50209	H市	98.0	2,397	80
18	50210	I市	99.9	3,201	80
19	50211	J市	100.8	3,040	86
20	50303	K町	100.0	2,988	81
21	50304	L町	96.3	2,687	85
22	50305	M町	98.4	2,199	77
23	50306	N町	90.9	2,856	77
24	50341	O町	98.7	3,387	88
25	50342	P村	94.2	3,765	80
26	50343	Q村	101.9	2,698	80
27	50344	R村	108.2	2,759	78
28	50345	S村	91.2	2,435	82
29	50561	T村	101.9	2,641	74

(注)比率算出に用いた分母人口
※2:×県統計調査課「×県年齢別人口調査」
※3:総務省「住民基本台帳に基

- ① 対象シートのA、B列にある市区町村の数(デフォルトで20行)を、都道府県の市区町村数に合わせて調整します。

例：市区町村数が30の場合、30-20=10行追加します。

やり方：12~28行目の間の任意の行を選択し、「挿入」を選択します。

注意点：デフォルトの11・29行目はシート保護のためさわらないでください。

- ② 各行のA列に地方公共団体コードを、B列に市区町村名を入力します。

①

4									
11	50202	B市	101.1	3,402	90.5	44.6	5.2	14	
12	50203	C市	103.0	3,204	82.0	4.8	12		
13	50205	D市	99.0	3,220	81.0	3.5	16		
14	50206	E市	97.0	3,609	81.0	6.0	13		
15	50207	F市	96.0	2,987	78.0	5.9	9		
16	50208	G市	104.8	2,756	79.0	4.9	11		
17	50209	H市	98.0	2,397	80.0	4.2	9		
18	50210	I市	99.9	3,201	80.0	4.8	12		
19	50211	J市	100.8	3,040	86.0	5.0	21		
20	50303	K町	100.0	2,988	81.0	3.8	6		
21	50304	L町	96.3	2,687	85.0	4.5	49		
22	50305	M町	98.4	2,199	77.0	5.1	56		
23	50306	N町	90.9	2,856	77.0	6.2	58		
24	50341	O町	98.7	3,387	88.0	3.7	58		
25	50342	P村	94.2	3,765	80.0	4.7	12		
26	50343	Q村	101.9	2,698	80.0	3.9	34		
27	50344	R村	108.2	2,759	78.0	3.4	43		
28	50345	S村	91.2	2,435	82.0	5.8	99		

②

	A	B	C	D
1	指標		A.経済・雇用	
2				
3		No.	A1	A2
4		データ名	昼夜間人口比	課税対象所得(納税義務者1人当たり)
11	14100	横浜市	101.1	3,402
12	14130	川崎市	103.0	3,204
13	50205	D市	99.0	3,220

2. 比較する指標を選ぶ i

対象シート

指標

偏差値

レーダー
チャート

分野別偏差値と
レーダーチャート

元データ

取得元

TO DO :

- ▶ A.経済・雇用～G働き方、男女共同参画までの7つの分類の中で取り上げたい指標を選択し、入れ替える。

指標		A経済・雇用					B賑わい、生活環境		
No.	A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	
データ名	昼夜間人口比(20-44歳)	課税対象所得(納税義務者1人当たり)	男女別正規雇用者比率(男性)	男女別正規雇用者比率(女性)	完全失業率(20-44歳)	駅(最寄り)までの平均所要時間(自転車)	大型小売店数(人口1万人当たり)	人口1万人当たり医薬品・化粧品・小売業所数	
単位	%	千円	%	%	%	※1	※3	※3	
時点	H27.10.1	H30.7.1	H27.10.1	H27.10.1	H27.10.1	H26.12.31	H28.6.1	H28.6.1	
資料	総務省「国勢調査」	総務省「市町村税課税状況等調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	×県資料	総務省「統計でみる市区町村のすがた」	総務省「経済センサス」	
×県	99.9	3,264	84.5	43.0	5.2	17.7	1.3	7.0	

- ① 指標はA.経済・雇用やB.賑わい、生活環境など7つの分野に分かれています。それぞれの分野を構成する指標は対象シートのC～AN列にデフォルトで記載されていますので、こういった指標があるかを確認してください。

- ② 自地域の特性にそぐわない指標や取得できない指標などがあれば、適宜指標を削除・変更してください。
例：コンビニ店舗数より郵便局数のほうが生活の賑わいに直結しているので変更したい
やり方：コンビニ店舗数のセルを書き換える
注意点：シート保護のため、分野ごとの境界にある列は削除せずに書き換えるようにしてください。
指標・偏差値の2シートを対応して変更してください。

- ③ 合わせて、8行目の参照した資料も変更してください。

2. 比較する指標を選ぶ ii 具体例

対象シート

指標

偏差値

レーダー
チャート

分野別偏差値と
レーダーチャート

元データ

取得元

F.子育て支援サービスの分野に新しく「12-17歳人口1万人当たりの学習塾数」という指標を追加する

AB	AC	AD	AE	AF	AG
子育て支援サービス					
F1	F2	F3	F4	F5	F6
0-2歳人口1万人当たり地域子育て支援拠点数	0-17歳人口1万人あたり障害児入所施設、児童発達支援センターの施設数	0-12歳人口1万人あたりファミリーサポートセンター数	放課後児童クラブ登録児童割合(小学校児童数当たり)	0-5歳人口1000人当たり待機児童数	保育所等利用児童割合(0-5歳人口比)
※2	※2	※2		※2	※2
箇所/人	箇所/人	所/万人	%	人	%
H30年度	H29.10.1	R1.7.1	H305.1	H31.4.1	R1.4.1

子育て支援サービス						
F1	F2	F3	F4	F5	F6	
0-2歳人口1万人当たり地域子育て支援拠点数	0-17歳人口1万人あたり障害児入所施設、児童発達支援センターの施設数	12-17歳人口1万人当たりの学習塾数	12歳人口1万人あたりファミリーサポートセンター数	放課後児童クラブ登録児童割合(小学校児童数当たり)	0-5歳人口1000人当たり待機児童数	保育所等利用児童割合(0-5歳人口比)
※2	※2		※2	※2	※2	
箇所/人	箇所/人	所/万人	%	人	%	
H30年度	H29.10.1	R1.7.1	H305.1	H31.4.1	R1.4.1	

AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP
F.子育て支援サービス						

①指標シートのF項目の中央あたりの列を選択し、新しい列を挿入する。

②項目名を入力し、通し番号を入れ直す。同様の対応を偏差値、元データ、取得元シートでも行う。

③レーダーチャートシートで新しい指標が追加されたことを確認する。

3. データを取得する i

対象シート

指標

偏差値

レーダー
チャート

分野別偏差値と
レーダーチャート

元データ

取得元

TO DO :

- ▶ 取得元シートの「URL」と「データの取得方法補足」を参照しながらデータをダウンロードする。
- ▶ 取得したデータは加工せずに元データシートに記載する。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2								
3								
4								
5								
6	元データ							
7	No.	A3	A4	B2	B3			
8	データ名	正規雇用者数(男性)	雇用者数総数(男性)	正規雇用者数(女性)	雇用者数総数(女性)	大型小売店数	医薬品化粧品小売業事業所	
9	X県	447,843	529,783	215,055	500,338	356		
10	50201 A市	128,995	149,493	53,333	131,876	89		
11	50202 B市	98,413	108,735	64,444	144,444	88		
12	50203 C市	33,000	40,000	14,598	34,567	18		
13	50205 D市	5,321	6,543	2,727	6,420	11		
14	50206 E市	17,233	21,070	8,765	19,999	29		
15	50207 F市	23,456	29,999	9,944	21,098	16		
16	50208 G市	8,218	10,345	4,567	11,111	8		
17	50209 H市	17,900	22,345	8,642	18,756	6		
18	50210 I市	44,444	55,555	17,685	43,210	31		
19	50211 J市	31,468	36,545	13,456	30,771	29	グラフエリア	
20	50303 K町	1,000	1,234	500	1,111	3		
21	50304 L町	854	1,000	556	1,234	2		
22	50305 M町	950	1,234	555	1,333	2		
23	50306 N町	6,789	8,765	3,030	6,666	6		
24	50341 O町	5,791	6,543	2,626	6,099	4		
25	50342 P村	8,888	11,111	3,456	7,654	7		
26	50343 Q村	4,680	5,791	1,357	3,247	6		
27	50344 R村	5,999	7,654	2,768	6,087	0		
28	50345 S村	1,234	1,500	579	1,212	1		
29	50561 T村	3,210	4,321	1,467	3,439	0		
30								
31								

- ① 本ファイルにあらかじめ記載されているもの以外の指標を使う場合は、まず指標を計算するために必要なデータの種類の考えます。そして、当該データの出典となる統計資料等を探します。
例：男女別正規雇用者比率(男性)のデータが必要な場合、正規雇用者数(男性)のデータと、雇用者数総数(男性)のデータが必要となります。
やり方：国勢調査就業状態等基本集計から該当するデータをダウンロードし、貼り付けます。
注意点1：割合の計算などは指標シート上で行い、元データシートには生データのみを入れてください。
注意点2：本ファイル上で計算せず、指標シートに直接、数値を入力することも可能です。
- ② 取得元シートに当該データの出典URLや資料名、参照した表の種類などを記載し、あとから出典に辿れるようにします。

3. データを取得する iii 具体例（国の統計等以外のデータを使う場合）

対象シート

指標

偏差値

レーダー
チャート

分野別偏差値と
レーダーチャート

元データ

取得元

0-17歳人口について、都道府県の統計データより当該データを探して記載する。

※上記は、国の統計等以外のデータを活用する場合におけるデータ取得の進め方の一つの仮想例であり、実際にすべての都道府県がそれぞれ0-17歳人口のデータを有するとは限りません。実際の場面では、どのようなデータが存在するか、どの情報源から取得可能か、も含めて、検討することが必要になります。

BA	BB	BC	BD	BE	BF	BG
人口(2017.1.1)	人口(2015.1.1)	人口(2018.1.1)	人口(2019.1.1)	0-17歳人口(2017.10.1)	0-17歳人口(2018.10.1)	0-5歳人口(2018.10.1)
https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=detail&statlist&toukei=00200241&stat=000001039591&cycle=7&year=201708&month=0&class=000001039601&cycle_facet=class1K3Acycle	https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=detail&statlist&toukei=00200241&stat=000001039591&cycle=7&year=201508&month=0&class=000001039601&result_back=1	https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=detail&statlist&toukei=00200241&stat=000001039591&cycle=7&year=201808&month=0&class=000001039601&cycle_facet=class1K3Acycle	https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&layout=detail&statlist&toukei=00200241&stat=000001039591&cycle=7&year=201908&month=0&class=000001039601&result_back=1	(各都道府県の統計データより当該データを探して記載する)	(各都道府県の統計データより当該データを探して記載する)	(各都道府県の統計データより当該データを探して記載する)
2017年 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査	2015年 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査	2018年 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査	2019年 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数	7 ページ		
表17-03 【総計】市区町村別人口、人口動態及び世帯数	表15-03 人口	表18-03 【総計】市区町村別人口、人口動態及び世帯数	19-03 【総計】市区町村別人口、人口動態及び世帯数			

- ① 0-17歳の人口については、各都道府県の統計データより当該データを探して記載する。

その他、B1 駅（最寄り）までの平均所要時間（自転車）や B6 コンビニ店舗数（人口1万人あたり）、B7 自然公園面積(人口比)、B8 15-18歳人口1万人あたりの全日制・定時制高校の学校数など、指標シートにて資料が「X県資料」となっているものについても同様の対応をする。

3. データを取得する iv

対象シート

指標

偏差値

レーダー
チャート

分野別偏差値と
レーダーチャート

元データ

取得元

TO DO :

- ▶ 指標シートに該当するデータを入力する。
- ▶ 計算の必要な指標は指標シート上に計算式を入力する。

	A	B	D	E	F	G	H
1	指標						
2							B.賑わい、生活
3		No.	A2	A3	A4	A5	B1
4		データ名	課税対象所得(納税義務者1人当たり)	男女別正規雇用者比率(男性)	男女別正規雇用者比率(女性)	完全失業率(20-44歳)	駅(最寄り)までの平均所要時間(自転車)
5		単位	千円	%	%	%	※1
6		時点	H30.7.1	H27.10.1	H27.10.1	H27.10.1	H26.12.31
7		資料	総務省「市町村税課税状況等調」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	X県資料
8		X県	3,264	84.5	43.0	5.2	17.7
9		A市	3,501	86.3	40.4	5.1	7.9
10	50201	B市	3,402	90.5	44.6	5.2	14.8
11	50202	C市	3,204	82.5	42.2	4.8	12.2
12	50203	D市	3,220	81.3	42.5	6.5	16.8
13	50205	E市	3,609	81.8	43.8	6.0	13.9
14	50206	F市	2,987	78.2	47.1	5.9	9.7
15	50207	G市	2,756	79.4	41.1	4.9	11.2
16	50208	H市	2,397	80.1	46.1	4.2	9.6
17	50209	I市	3,201	80.0	40.9	4.8	12.9
18	50210	J市	3,040	86.1	43.7	5.0	21.7
19	50211	K町	2,988	81.0	45.0	3.8	6.9
20	50303	L町	2,687	85.4	45.1	4.5	49.5
21	50304	M町	2,199	77.0	41.6	5.1	56.8
22	50305	N町	2,856	77.5	45.5	6.2	58.2
23	50306	O町	3,387	88.5	43.1	3.7	58.3
24	50341	P村	3,765	80.0	45.2	4.7	12.3
25	50342	Q村	2,698	80.8	41.8	3.9	34.2
26	50343						

① 指標シートにおいて、指標を計算するために必要なデータを元データシートから参照する計算式を入力する。

例：男女別正規雇用者数比率(男性)を計算する場合
 =元データ内の正規雇用者数(男性) / 雇用者数総数(男性)のデータ

注意点：割合の計算などは指標シート上で行い、元データシートには生データのみを入れるようにしてください。

	A	B	D	E	F
1	指標				
2					
3		No.	A2	A3	A4
4		データ名	課税対象所得(納税義務者1人当たり)	男女別正規雇用者比率(男性)	男女別正規雇用者比率(女性)
5		単位	千円	%	%
6		時点	H30.7.1	H27.10.1	H27.10.1
7		資料	総務省「市町村税課税状況等調」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」
8		X県	=元データ!C9/元	43.0	
9		A市	データ!D9*100	40.4	
10	50201	B市	3,402	90.5	44.6
11	50202	C市	3,204	82.5	42.2

3. データを取得する vi 具体例

対象シート

指標

偏差値

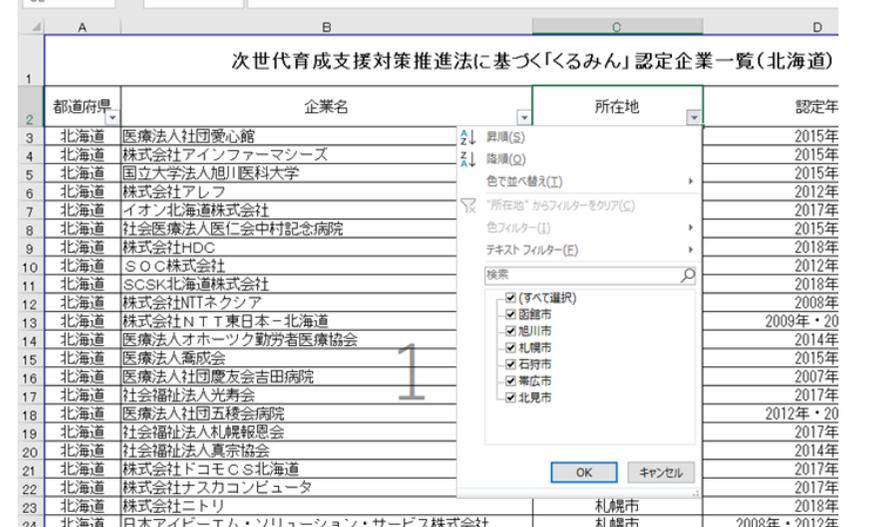
レーダー
チャート

分野別偏差値と
レーダーチャート

元データ

取得元

指標G7くるみん認定企業を例にデータ取得方法を参照する。

 <p>↑ URLにアクセスする。</p>	 <p>↑ 所属する都道府県を選択する。</p>	 <p>↑ 所在地から参照する市区町村を選択し、ソートしたうえで企業数をカウントする。</p>
<p>① URLにアクセスする。</p>	<p>② 所属する都道府県を選択する。</p>	<p>③ 所在地から参照する市区町村を選択し、ソートしたうえで企業数をカウントする。</p>

4. データを入力する 具体例

対象シート

指標

偏差値

レーダー
チャート

分野別偏差値と
レーダーチャート

元データ

取得元

指標B2大型小売店数(人口1万人当たり)を元データから計算式を入力し記入する。

6	市区町村	Municipalities	大型小売店数	百貨店総合スーパー
7			No. of large-scale retail stores	No. of dept. stores and merchandis
8			H8182	H813
9			事業所 number of establishments	事業所 nu. establish
10			2016	2016
11	01 北海道	Hokkaido		
12	01100 札幌市	Sapporo-shi	355	
13	01101 中央区	Chuo-ku	69	
14	01102 北区	Kita-ku	50	
15	01108 東区	Higashi-ku	46	
16	01104 白石区	Shirichi-ku	27	

6	元データ	
7	No.	B2
8	データ名	大型小売店数
9	X県	356
10	50201 A市	89
11	50202 B市	88
12	50203 C市	18
13	50205 D市	11
14	50206 E市	29
15	50207 F市	16
16	50208 G市	8
17	50209 H市	6
18	50210 I市	31

AR10	A	B	AQ	AR
6	元データ			
7	No.			
8	データ名	人口 (2015.1.1)	人口 (2017.1.1)	人口 (2018.1.1)
9	X県	2,853,480	2,792,392	
10	50201 A市	888,880	878,781	
11	50202 B市	624,620	599,999	
12	50203 C市	234,560	231,231	
13	50205 D市	46,800	45,678	
14	50206 E市	111,110	109,345	
15	50207 F市	133,330	123,456	
16	50208 G市	76,540	75,319	
17	50209 H市	101,100	100,000	
18	50210 I市	242,000	243,000	
19	50211 J市	170,980	167,890	
20	50303 K町	9,990	9,876	
21	50304 L町	7,100	7,000	
22	50305 M町	8,880	8,765	
23	50306 N町	39,990	39,990	
24	50341 O町	33,330	32,132	
25	50342 P村	44,440	43,210	
26	50343 Q村	19,870	18,790	

110	A	B	H	I	J
1	指標	B賑わい生活環境			
2		No.	B1	B2	B3
3	データ名	駅(最寄り)までの平均所要時間(自転車)	大型小売店数(人口1万人当たり)	人口1万人当たり医薬品・化粧品小売り業事業所数	
4		※1	※3	※3	
5	単位	分	店/万人	店/万人	
6	時点	H26.12.31	H28.6.1	H28.6.1	
7	資料	X県資料	総務省「統計でみる市区町村のすがた」	総務省「経済センサス」	
8		X県	17.7	1.3	7.0
9					
10	50201	A市	7.9	1.6	6.3
11	50202	B市	14.8	1.5	8.9
12	50203	C市	12.2	0.8	7.1
13	50205	D市	16.8	2.4	6.6
14	50206	E市	13.9	2.1	9.1
15	50207	F市	9.7	1.3	6.9
16	50208	G市	11.2	1.1	7.8
17	50209	H市	9.6	0.6	3.5
18	50210	I市	12.9	1.3	7.0
19	50211	J市	21.7	1.1	5.8
20	50303	K町	6.9	3.0	3.0
21	50304	L町	49.5	2.5	12.9
22	50305	M町	56.8	2.3	11.4
23	50306	N町	58.2	1.3	5.3

①分子となる指標がどの年次に取得されたものかを確認したうえで、元データシートでデータを参照する。

②分母の人口データについて、①で確認した年次に合うデータを元データシートで参照する。

③指標シートにて、「=(①で参照したデータ)/(②で参照したデータ)*10000」と入力し、値を記載する。

5. 偏差値を確認する

対象シート

指標

偏差値

レーダー
チャート

分野別偏差値と
レーダーチャート

元データ

取得元

TO DO :

- ▶ 入力した指標をもとに偏差値が算定されているかを確認する。
- ▶ 負の指標(失業率など)の「逆向きの偏差値」を設定する

偏差値			
A 経済・雇用			
No.	A1	A2	A
データ名	昼夜間人口比(20-44歳)	課税対象所得(納税義務者1人当たり)	男女別正規雇比率(性)
単位	%	千円	
時点	H27.10.1	H30.7.1	H27.10.1
資料	総務省「国勢調査」	総務省「市町村税課税状況等調査」	総務省「国勢調査」
50203	C市	58.6	55.3
50205	D市	49.3	55.6
50206	E市	44.6	65.0
50207	F市	42.2	50.0
50208	G市	62.8	44.4
50209	H市	46.9	35.8
50210	I市	51.4	55.2
50211	J市	53.5	51.3
50303	K町	51.6	50.0
50304	L町	43.0	42.8
50305	M町	47.9	31.0
50306	N町	30.3	46.8
50341	O町	48.6	59.7
50342	P村	38.0	68.8
50343	Q村	56.0	43.0
50344	R村	70.8	44.5
50345	S村	31.0	36.7
50561	T村	56.0	41.7
	平均	99.3	2986.6
	標準偏差	4.28	414.01

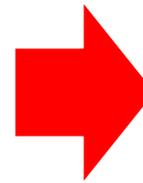
① 指標をすべて入力すると、偏差値シートに偏差値が算出されるので確認します。

② 逆向きの偏差値を計算します。「完全失業率」や「刑法犯認知件数」など数値が低いほうが好ましい指標は、計算式を適宜変更します。

やり方：デフォルトの計算式の末尾を「*10+50」から「*(-10)+50」に変更する。

注意点：逆向きの偏差値を算出している行については、それがわかるように行の色を変更し、逆向きであることを余白に記載してください。

偏差値						
A 経済・雇用						
No.	A1	A2	A3	A4	A5	A
データ名	昼夜間人口比(20-44歳)	課税対象所得(納税義務者1人当たり)	男女別正規雇比率(男性)	男女別正規雇比率(女性)	完全失業率(20-44歳)	
単位	%	千円	%	%	%	
時点	H27.10.1	H30.7.1	H27.10.1	H27.10.1	H27.10.1	
資料	総務省「国勢調査」	総務省「市町村税課税状況等調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	
50203	C市	58.6	55.3	52.4	42.5	50.0
50205	D市	49.3	55.6	49.4	43.7	31.2
50206	E市	44.6	65.0	(指標)	50.2	37.0
50207	F市	42.2	50.0	E14-偏差値	66.3	38.1
50208	G市	62.8	44.4	偏差値	37.0	49.7
50209	H市	46.9	35.8	E30/偏差値	61.2	57.7
50210	I市	51.4	55.2	偏差値	36.1	50.8
50211	J市	53.5	51.3	E31*10	49.7	48.5
50303	K町	51.6	50.0	+50	55.9	62.2



偏差値						
A 経済・雇用					B 賑わい、生活	
No.	A1	A2	A3	A4	A5	B1
データ名	昼夜間人口比(20-44歳)	課税対象所得(納税義務者1人当たり)	男女別正規雇比率(男性)	男女別正規雇比率(女性)	完全失業率(20-44歳)	駅(最寄り)までの所要時間(自転車)
単位	%	千円	%	%	%	分
時点	H27.10.1	H30.7.1	H27.10.1	H27.10.1	H27.10.1	H26.12.31
資料	総務省「国勢調査」	総務省「市町村税課税状況等調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	×県資料
C市	58.6	55.3	52.4	42.5	50.8	57.0
D市	49.3	55.6	49.4	43.7	31.2	= (指標)
E市	44.6	65.0	50.6	50.2	37.0	H13-偏差値
F市	42.2	50.0	41.4	66.3	38.1	H30/偏差値
G市	62.8	44.4	44.6	37.0	49.7	H31*/偏差値
H市	46.9	35.8	46.3	61.2	57.7	H31*(-10)+50
I市	51.4	55.2	46.0	36.1	50.8	
J市	53.5	51.3	61.5	49.7	48.5	

6. レーダーチャートを確認する

対象シート

指標

偏差値

レーダーチャート

分野別偏差値とレーダーチャート

元データ

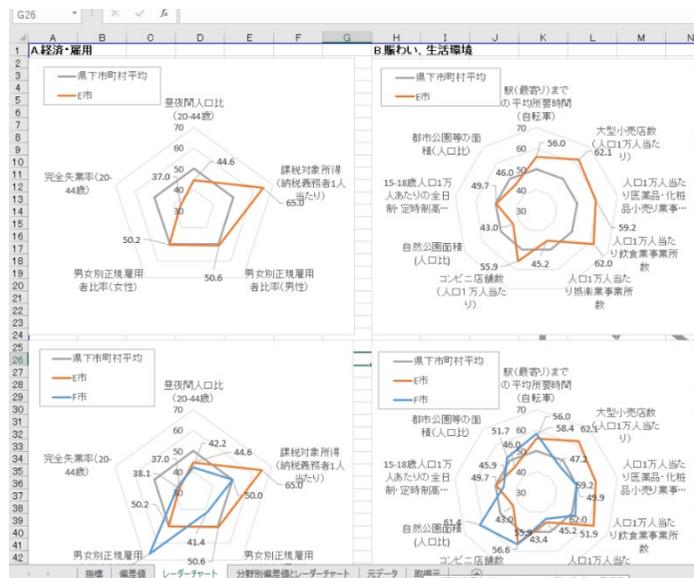
取得元

TO DO :

- ▶ 偏差値シート下部の「レーダーチャート作成用」欄にチャートを作成したい市区町村のデータを入力する
- ▶ レーダーチャートシート内のレーダーチャートを確認する

A40							
A	B	C	D	E	F	G	H
偏差値	A経済・雇用						B賑わい・生活環境
	Nb.	A1	A2	A3	A4	A5	B1
データ名	昼夜間人口比(20-44歳)	課税対象所得(納税義務者1人当たり)	男女別正規雇用者比率(男性)	男女別正規雇用者比率(女性)	完全失業率(20-44歳)		駅(最寄までの平均所要時間(自転車))
単位	%	千円	%	%	%		※1
時点	H27.10.1	H30.7.1	H27.10.1	H27.10.1	H27.10.1		分
資料	総務省「国勢調査」	総務省「市町村課税状況等調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」	総務省「国勢調査」		×県資料
平均	99.3	2986.6	81.6	43.8	4.9	2.4	
標準偏差	4.28	414.01	3.95	2.06	0.87	1.7	
							※ 逆向きの偏差値
最大値	30.3	31.0	31.6	33.8	31.2	3	
最小値	70.8	68.8	72.6	69.4	67.0	6	
レーダーチャート作成用	経済・雇用						賑わい・生活環境
	昼夜間人口比(20-44歳)	課税対象所得(納税義務者1人当たり)	男女別正規雇用者比率(男性)	男女別正規雇用者比率(女性)	完全失業率(20-44歳)		駅(最寄までの平均所要時間(自転車))
↓番号(地方公共団体コード)を入力すると市町村名および数値が自動的に変わり、レーダーチャートに反映されます							
50206	E市	44.6	65.0	50.6	50.2	37.0	51.7
50207	E市	42.2	50.0	41.4	66.3	38.1	51.9
	1	2	3	4	5	6	7
	指標	偏差値	レーダーチャート	分野別偏差値とレーダーチャート	元データ	取得元	

- ① 偏差値シート下部にある「レーダーチャート作成用」のA列に、レーダーチャートを作成したい地方公共団体コードを入力します。入力すると自動的にその市区町村の偏差値が表示されます。
- ② レーダーチャートのシートに移動し、入力した市区町村のレーダーチャートが作成されているかを確認してください。



7. 分野別偏差値とレーダーチャートを確認する

対象シート

指標

偏差値

レーダーチャート

分野別偏差値とレーダーチャート

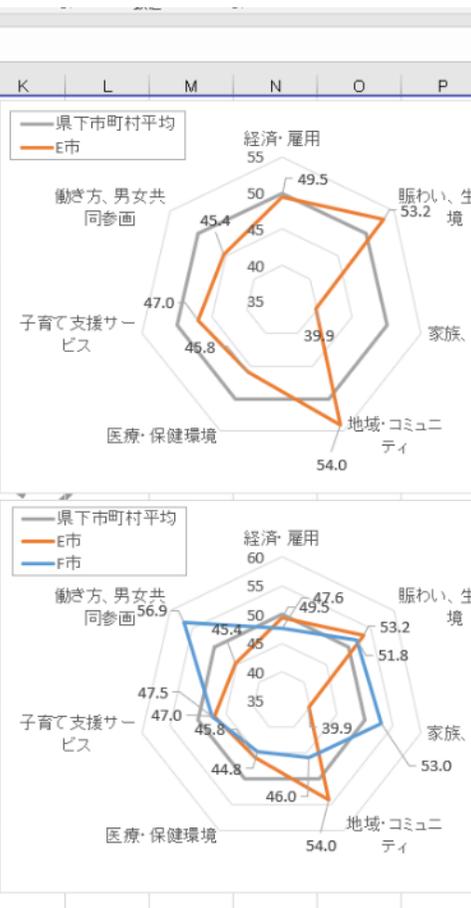
元データ

取得元

TO DO :

- ▶ 「分野別偏差値とレーダーチャート」シート下部の「レーダーチャート作成用」欄にチャートを作成したい市区町村のデータを入力する。
- ▶ レーダーチャートシート内のレーダーチャートを確認する

1	一覧表								
2	分野別偏差値	経済・雇用	賑わい、生活環境	家族、住生活	地域・コミュニティ	医療・保健環境	子育て支援サービス	働き方、男女共同参画	
3	50201	A市	53.8	46.6	42.6	49.5	48.5	46.2	52.2
4	50202	B市	57.4	53.1	44.2	46.5	53.5	46.3	49.4
5	50203	C市	51.9	48.8	41.8	48.4	49.5	50.2	50.3
6	50205	D市	45.8	57.6	34.9	49.9	57.5	58.6	53.9
7	50206	E市	49.5	53.2	39.9	54.0	45.8	47.0	45.4
8	50207	F市	47.6	51.8	53.0	46.0	44.8	47.5	56.9
9	50208	G市	47.7	54.3	45.1	48.0	50.7	58.9	53.1
10	50209	H市	49.6	46.8	55.4	48.4	43.1	51.7	51.0
11	50210	I市	47.9	49.0	51.9	45.1	45.5	50.8	48.9
12	50211	J市	52.9	46.9	52.2	46.3	45.8	51.1	52.3
13	50303	K町	53.7	58.8	60.7	61.4	68.9	46.9	48.8
14	50304	L町	51.2	55.2	59.3	57.1	44.2	50.8	48.0
15	50305	M町	40.8	56.9	48.9	54.8	61.8	42.7	46.9
16	50306	N町	41.9	42.1	47.7	45.0	41.6	50.3	39.5
17	50341	O町	57.2	45.7	41.0	46.7	52.1	50.6	50.7
18	50342	P村	52.3	48.5	38.5	49.1	49.6	41.4	46.3
19	50343	Q村	49.7	53.5	55.2	48.1	47.2	51.8	48.9
20	50344	R村	56.5	43.1	58.2	45.7	49.3	53.9	55.8
21	50345	S村	45.6	46.8	63.4	61.7	55.1	54.8	51.8
22	50561	T村	47.0	41.1	66.2	48.5	45.6	48.5	49.8
23									
24									
25	レーダーチャート作成用								
26	↓番号(地方公共団体コード)を入力すると市町村名および数値が自動的に変わり、レーダーチャートに反映されます								
27									
28			経済・雇用	賑わい、生活環境	家族、住生活	地域・コミュニティ	医療・保健環境	子育て支援サービス	働き方、男女共同参画
29		県下市町村平均	50	50	50	50	50	50	50
30		50206 E市	49.5	53.2	39.9	54.0	45.8	47.0	45.4
31		50207 F市	47.6	51.8	53.0	46.0	44.8	47.5	56.9
32									
33									
34									
35									



Ⅲ. 補足

困ったときは・・・

対象シート

指標

偏差値

レーダー
チャート

分野別偏差値と
レーダーチャート

元データ

取得元

- ① 利用したいデータの取得年と国勢調査の年が合わない。
→国勢調査だけでなく住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査を活用するなどして、利用したいデータの取得年とそのときの人口が合致するようにしてください。
- ② ブックが崩れてしまった。
→分野や項目の境界の行やセルを変更してしまうと計算式が崩れてしまう可能性があります。なるべく項目内の中央寄りのセルや行を選択し、データを抜き差しするようにしてください。
- ③ デフォルトの指標が所属する都道府県の個性に合わない
→デフォルトの指標は適宜変更いただいて構いません。データの出典や算出式が後から見ても再現できるような形でファイルを作成ください。
- ④ 人口データなど、すでに都道府県としてまとめたものがある
→正確かつ迅速にアクセスできるデータが都道府県にある場合は、そちらを参照しデータを入力してください。特に年齢別のデータなどは国の統計では5歳刻みになっていることもあり、求めるデータがダウンロードできない可能性があります。